

# 外国語科 学習指導案

令和元年 11 月 29 日(金) 5 校時 1 年〇組

指導者 ○○ ○○

ALT ○○○○

## I 単元名 Lesson 7 「New Year」

## II 学習指導要領上の位置付け

第 2 章 外国語科の目標及び内容

第 2 節 英語

1 目標 (3) 話すこと [やり取り]

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。

2 内容 (3) エ 話すこと [やり取り]

(ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、お互いに会話を継続する活動。

(イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。

## III 目 標

以下のア、イに示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、ウに示す資質・能力を育成する。

ア 「日本の食文化」や「日本語」を ALT に紹介する活動を通して、助動詞 **can** の用法を理解し、活用することができるようにする。(知識及び技能)

イ 「日本の食文化」や「日本語」を紹介したり、紹介されたことに対して関心のあることを尋ねたりすることができる。また、その紹介を聞き取ったり、書いたりすることができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)

ウ 「日本の食文化」や「日本語」の紹介の仕方を充実させることに意欲的に取り組み、「伝わりやすさ」を意識して紹介し、英語でやり取りをしている。(学びに向かう力、人間性等)

## IV 指導計画 ※別紙参照

## V 本時の展開 (1/9) 本時

1 ねらい 教科書 p. 88~92 (Lesson7) の内容を基に、「日本の料理」や「ことば」について、ALT と英語でやり取りをする活動を通して、日本の食文化や日本語に改めて関心を持ち、それに関する英語が話せるようにする。

### 2 展開

学習活動 (分) ○ : 留意点 点線囲 : 評価 ☆ : 振り返りの子供の意識

#### 1 あいさつ・Small Talk を行う。(12分)

○ 本日の給食(すき焼き等)を話題に出し、日本の料理に関心を持たせる。

○ 日付を確認しながら、12月・1月の行事(クリスマス・お正月等)や料理について考え、ALT と英語でやり取りをさせる。

○ 教科書の中の12月、1月に関する行事や料理に関する英語表現を見ることで、さらに英で言えることに気付かせる。

2 単元のめあてをつかむ。(2分)

- ALT からの「日本の料理や日本語についてとても興味を持ったので、もっと知りたい。」という投げかけに対し、課題意識をもって活動していけるよう助言する。

めあて ALT に「日本の食文化」や「日本語」について紹介し、英語でやり取りをしよう。

3 本時のめあてをつかむ。(1分)

- 既習表現を使って、英語でやり取りができるよう助言する。

めあて 「日本の料理」や「ことば」について関心を持ち、ALT と英語でやり取りをしよう。

4 本時の活動に取り組む。(25分)

- ★日本の「特別な料理」や「ALT が知りたい漢字、日本語」について ALT とやり取りをする。
- ALT の「関心がある日本の料理」や「知りたい漢字、日本語」について、紹介や説明をさせてみる。
- ペア活動で、お互いの紹介や説明をヒントに、英語で言えそうな表現に気付かせる。
- グループ活動で協力しながら、再度紹介や説明をさせてみる。
- 生徒から出てきた表現を紹介し、紹介や説明の内容に付け足せるようにする。
- 間違いを恐れず発信することが「伝えたい内容」であることを強調する。
- 英語を発信している生徒を称賛する。

「日本の料理」や「ことば」について、ALT に対して意欲的に英語を話している。  
 < 発言 (1)イ >

5 本時のまとめ・振り返りをする。(10分)

- 『「日本の料理」や「ことば」について紹介できたか』問いかける。
- 『今日、英語で言いたかったことは何か』問いかける。
- ☆ 既習表現を使って「日本の料理」や「ことば」について英語で言うことができた。【言語面】
- ☆ 疑問文で、ALT に質問することができた。【言語面】
- ☆ 「日本の食べ物」について紹介してみたいな。【内容面】
- ☆ 今日の「漢字」の意味を英語で言いたかった。【内容面】

V 本時の展開 (4 / 9)

- ねらい グループ内で、「日本の食文化」や「日本語」を紹介し合い、英語でやり取りをする活動を通して、既習表現や can を使った表現を使うことができるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 あいさつ・帯活動を行う。(8分)	○ 日本各県の特産物や県名(漢字)をペアでお互いに紹介させる。	○ 紹介を聞きながらメモを取り、質問をしながら会話活動が継続できるように支援する。	
2 本時のめあてをつかむ。(2分)			

○既習表現を使って紹介できるよう助言する。

めあて グループで「日本の食文化」や「日本語」について紹介し合い、英語でやり取りをしよう。

### 3 本時の活動に取り組む。

#### (1) 紹介したい「日本の食文化」や「日本語」を考える。(10分)

- 紹介する内容の情報を考え、メモを取らせる。
- これまでの学習や帯活動から紹介内容を言えるよう助言する。
- 既習表現や can 使って、書いたメモから紹介ができるよう助言する。

#### (2) グループで、紹介したい「日本の料理や日本語」を紹介し合い、英語でやり取りをする。(20分)

- 既習表現を使って、やり取りができるよう助言する。
- 途中で、ALT とのデモンストレーションを見せ、紹介ややり取りのイメージをつかませる。
- グループで協力して、やり取りが円滑に進められるよう助言する。
- 模範となる紹介や、スムーズなやり取りができているグループ・生徒を称賛する。

「日本の食文化」や「日本語」を、既習表現や can 使って、紹介したり、英語でやり取りができる。＜発言・振り返りシート (2)ア(3)(4)＞

### 4 本時のまとめ・振り返りをする。(10分)

- 「既習表現や can 使って、紹介したり、英語でやり取りができたか」問いかける。
- 『今日、英語で言いたかったことは何か』問いかける。
- ☆ can を使って、やり取りをすることができた。【言語面】
- ☆既習表現を使って、話すことができた。【言語面】
- ☆関心があることについて、尋ねることができた。【内容面】
- ☆「日本の食文化」や「日本語」について、わかったことがあった。【内容面】

## V 本時の展開 (8・9/9)

1 ねらい グループで、前時で考えた紹介文を見直す活動を通して、紹介内容を工夫し、再度ALTに「日本の食文化」や「日本語」を紹介し、英語でやり取りをすることができるようにする。

### 2 展開

学習活動 (分) ○: 留意点 点線囲: 評価 ☆: 振り返りの子供の意識

#### 1 あいさつ・帯活動を行う。(8分)

- 日本の各県の特産物や県名(漢字)をペアでお互いに紹介させる。
- 紹介を聞きながらメモを取り、質問をしながら会話活動が継続できるよう支援する。

#### 2 本時のめあてをつかむ。(2分)

- 「伝わりやすさ」を意識して、紹介できるよう助言する。

めあて 紹介の仕方を工夫して、ALTに「日本の食文化」や「日本語」を紹介し、英語でやり取りをしよう。

3 本時の活動に取り組む。

(1) 前時で考えた紹介文をグループで見直し「伝わりやすさ」を意識した紹介の仕方を考える。  
(15分)

- グループ内で、他の生徒の紹介文を見直させる。
- 他の生徒の紹介文と自分の紹介文を比較することで、「伝わりやすさ」に気付かせる。
- 再度、自分の紹介文の構成を考えさせる。

(2) 「日本の食文化」や「日本語」について ALT に紹介する。(20分)

- 「伝わりやすさ」を意識して、紹介ができるよう助言する。
- 他の生徒には、紹介を聞きながらメモを取らせ、紹介内容について質問できるよう助言する。
- 模範となる紹介ができている生徒を称賛する。

「伝わりやすさ」を意識して、「日本の食文化」や「日本語」を ALT に紹介し、英語でやり取りができる。＜発言 (1)ア(2)ア(4)＞

4 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)

○「伝わりやすさ」を意識して、「日本の食文化」や「日本語」を ALT に紹介することができたか」問いかける。

☆ can を使った表現を使うことができた。【言語面】

☆既習表現を使って、紹介することができた。【言語面】

☆前回よりもスムーズに、紹介することができた。【内容面】

☆紹介内容の流れを考えて、紹介できた。【内容面】

☆紹介する順番を考えると、伝わりやすいことが分かった。【内容面】